

■「3つのS」10年

1985(昭和60)年7月～1986(昭和61)年6月

エドワード・F・カドマン R.I.会長
増田房二 ガバナー
岡野捨男 会長
澤 直樹 幹事

RIテーマ■あなたが鍵です

長浜東ロータリークラブ25周年を祝して

長浜東ロータリークラブ25周年おめでとうございます。

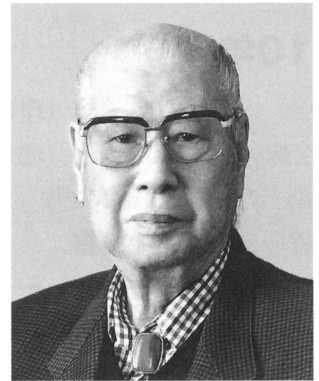
衷心より祝意と敬意を表するとともに国際ロータリー100周年に対する心構えについて私見を述べたいと思います。

さて、本2001年は私に対し、かつてない衝撃の年でした。永年愛読したDaily, mainichiが廃刊になり、その理由が産業革命の終焉による活字から光ファイバーへの移行でした。改めて周囲を見廻せば世界の到るところで巨大な波が押し寄せていることに気がきます。アルビン・フトラーの第3の波の到来です。慌てて再読の結果、著者の予測が既に現実のものであり、諸々のことが第2と第3の波の葛藤の所産であることに気が付き愕然肌の粟立つ思いであります。第2の波の終局に誕生したロータリーがこの巨大な波にどのように対応すればよいのが私の設問の一つです。友情、愛、献身、共同体の意識がエレクトロニクスに吸収され、人間関係が益々希薄になるのではないかとの問いかけです。

唯、心強いことは著者が新しい精神体系の創造を呼びかけていることです。孤独への挑戦、共同体への帰属、社会構造、人生の把握であり、企業もまた道徳的効果を製造せざるを得ない認識未来であるとのこと。本年度RI会長のThemaはCreate Awareness Take Actionであるが、以上のような考えも包含しているのでしょう。

最近I serveからWe serveに傾き勝ちですが、本質はあくまでI serveであり、「個」の再認識であり、さらに家族人間関係の確立に繋がり、メディアの脱画一性が成立すると思います。自説には未だ不満足ですが、時間が許せば、さらに研鑽を積む心算です。

(2001年春)



会長
岡野捨男



10年目の会報第1号▶

IO
th.

理事・役員及び委員会構成

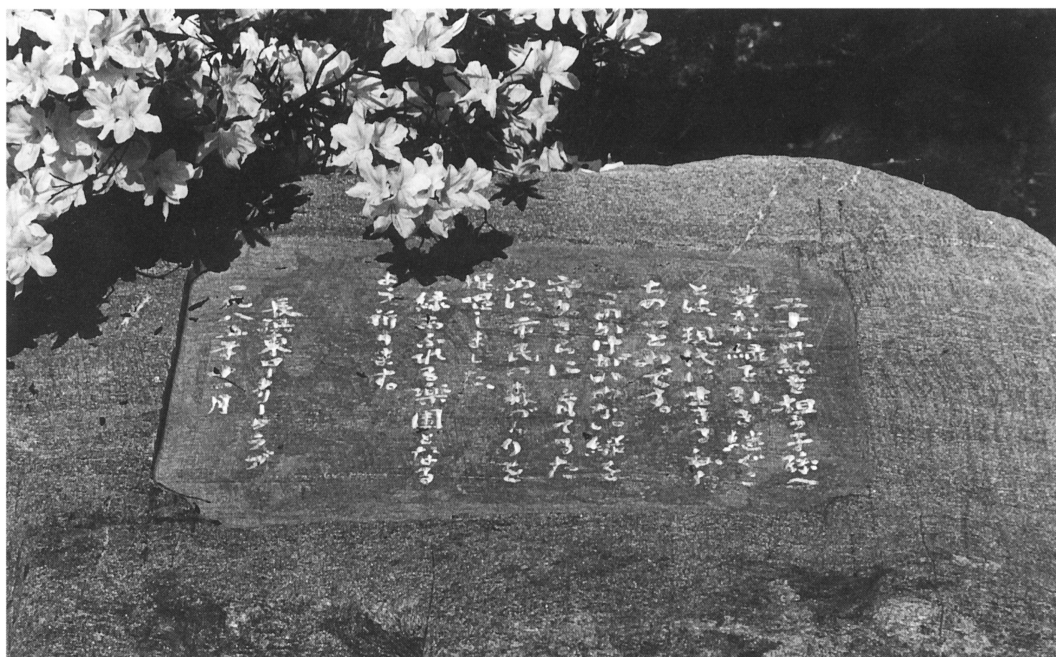
10年目

会 長	岡野捨男（理事）	副 幹 事	中川考雄	国際奉仕	松波征文（理事）
会長エレクト	松原秀雄（理事）	S.A.A.	石黒宏平	青少年奉仕	飯田与史雄（理事）
副 会 長	藤田喜久男	クラブ奉仕	永井東太郎（理事）	情 報	菅原右一
幹 事	澤 直樹	直前会長	菅原右一	みどりの森	藤井 浩（理事）
		職業奉仕	中尾禎夫（理事）	隣接クラブ連絡	河瀬純治（理事）
		社会奉仕	森島英祐（理事）	会 計	田沢俊夫

委員会名		委員長	副委員長	委員	
ク ラ ブ 奉 仕		永井東太郎	岡野耕一		
ク ラ ブ サ ー ビ ス	出 席	吉田輝久	三好俊朗	西橋建男	鹿城鎮夫 春近博
	ク ラ ブ 会 報	中川考雄	谷口正臣	渋谷治巳	速水喜八郎 坪居好夫 林浩平
	親 睦 活 動	大谷治男	八木清司 伊藤正基	大塚功三	北川巖 村田武夫 前川甚三 川合四郎
	雑 誌	鈴木徳兵衛	古橋正士	長谷幸二	設楽忠克 大橋佐平 藤居利夫
	会 員 選 考	森力造	栗原通夫	福永勝彦	国友美丸 尾崎庄助 竹中庄蔵
	会 員 増 強	安達俊朗	月ヶ瀬松美	行徳憲三	牧野幸男
	プ ロ グ ラ ム	栗田隆	国友美丸	土田宣孝	
	広 報	片山洋平	野村甚吉	鳥居治夫	大沢一雄
	職 業 分 類	畑沢育雄	宮川将蔵	辻村克	松本博文 古野光員 川村務
	ロ ー タ リ ー 情 報	菅原右一	塚田英夫	原田良策	
職 業 奉 仕 社 会 奉 仕 青 少 年 奉 仕 国 際 奉 仕 S ・ A ・ A ・ みどりの森特別委員会 隣接クラブ連絡協議会 10 周 年 記 念	規 定 審 議	岸本雅巳	小山仁朗	法戸源治	
	ソ ン グ リ ー ダ ー	岡野耕一	丁野恵鏡	永井東太郎	
	職 業 奉 仕	中尾禎夫	高森嘉郎	西濱勲	
	社 会 奉 仕	森島英祐	大塚功三	押谷仁一	
	青 少 年 奉 仕	飯田与史雄	石崎章	大西一男 東光保隆 山田芳彦 小山仁朗	
	国 際 奉 仕	松波征文	長岡透	川辺俊夫 松田文雄 藤本幸次郎 吉田茂	
	S ・ A ・ A ・	石黒宏平	家森眞一	伊吹宏 丁野恵鏡 中川豊太良 青木吉弥	
	みどりの森特別委員会	藤井浩	森島英祐	河合亮治 吉田宏 押谷仁一 中田憲史	
	隣接クラブ連絡協議会	河瀬純治		財団担当—林平	
	10 周 年 記 念	河瀬純治	原田良策 西濱勲	中島捨雄	
				八木清司	
				藤田喜久男	

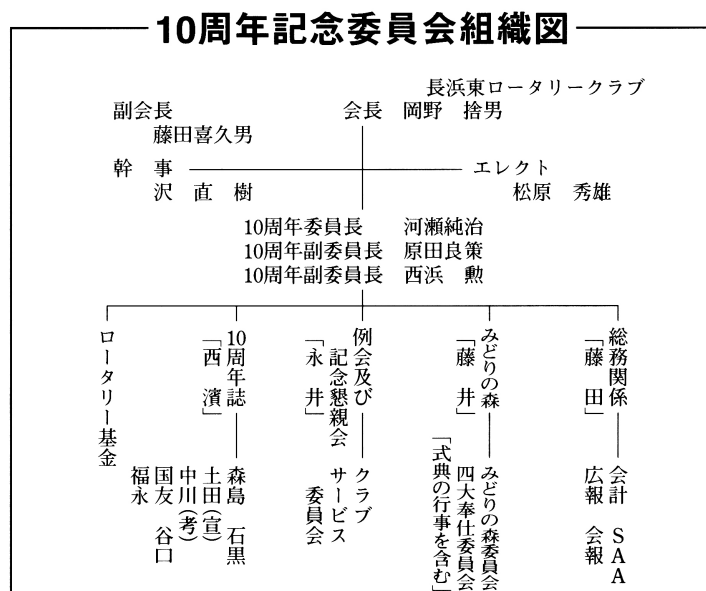
第2650地区委員〔職業奉仕地区委員〕 小山仁朗

長浜東ロータリークラブ創立10周年記念



私たちの「ねがい」が永久に語りつがれることを念じつつ……

私たちは、長浜東RC10周年を記念して豊公園みどりの森に、上のような提唱石を設けました。



記念式典



11月1日豊公園にて

・クラブ創立10周年を記念し、長浜市長をはじめ、地区ガバナー並びに多数のご来賓をお迎えして、創立以来提唱してまいりました、「みどりの森」にちなみ豊公園交通公園に於て意義深い記念式典が挙行されました。

岡野会長の21世紀へ向けての格調高い挨拶、続いてご来賓の感銘深いご祝辞を戴きました。

・巣箱の制作コンクールが職業奉仕委員会担当で行われました。

多数の応募者より審査の結果

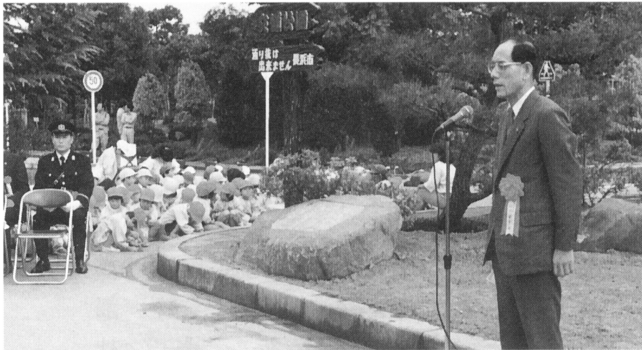
最優秀 塚田英夫君

優 秀 原田哲行君 前川甚三君

佳 作 5名が選ばれました。

・続いて長浜市の木「山茶花」が記念植樹され、次代を担う幼稚園児達も未来を思いつつそれぞれ「さつき」を植えました。これに先立ち9月25日会員によって檜等多数が植樹され「みどりの森」もひとときわ充実されたようです。

又、式典に際し整備された交通公園で、青少年委員会担当により長浜警察署のご指導のもと、園児達に交通マナーの指導が行われました。



記念式典にかけつけられた松宮市長のあいさつ
「さらにますますの飛躍を期待しています……」

豊公園にて



〔記念例会〕

北ビワコホテル住文に於て多数のご来賓のご臨席のもと記念例会が開かれました。

会長の挨拶、ガバナー代理の祝辞に続き、みどりの森経過報告のスライドによる“みどりの森”10年の歩みが10周年委員会でなされ、創立以来の事業の足跡を顧みました。



「市民の森づくり」を提唱し、会員ひとりひとりが立派な巣箱をつくりました。

写真は巣箱コンクールに集まった力作の数々



〔記念パーティ〕

手に手つないで……記念パーティは、あらたなる門出の1ページにもなるのでした。

10周年記念式典招待者名簿

長 浜 市 長	松 宮 資 男	朝 日 新 聞 長 浜 通 信 局
長 浜 商 工 会 議 所 会 頭	石 井 良 造	京 都 新 聞 湖 北 支 局
国 際 ロ ー タ リ ー 第 265 地 区 ガ バ ナ ー	増 田 房 二	サ ン ケ イ 新 聞 長 浜 通 信 部
国 際 ロ ー タ リ ー 第 265 地 区 パ ス ト ガ バ ナ ー	財 津 晃	中 日 新 聞 長 浜 通 信 部
長 浜 市 教 育 長	尾 木 敏 蔵	毎 日 新 聞 長 浜 通 信 部
長 浜 警 察 署 長	杉 江 謹 之 介	読 売 新 聞 長 浜 通 信 部
長 浜 幼 稚 園 々 長	藪 内 太 一 郎	近 江 毎 夕 新 聞 社
長 浜 ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ 会 長	前 川 健 児	湖 北 新 聞 社
長 浜 青 年 会 議 所 理 事 長	月ヶ瀬 義 雄	滋 賀 タ イ ム 新 聞 社
長 浜 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ 会 長	清水 岩 雄	滋 賀 夕 刊 新 聞 社
長 浜 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ 幹 事	笹 原 秀 規	
長 浜 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ 前 会 長	大 野 良 一	長 浜 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ 創 立 会 員
〃	宮 川 正 夫	長 浜 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ 前 幹 事
〃	石 居 良 造	〃
〃	岡 田 孝 夫	〃
〃	中 川 菅 雄	〃
〃	伊 藤 家 義	〃
〃	沢 田 貞 三	〃
〃	松 田 謹 一	〃
〃	伊 藤 仁 一	〃
〃	樋 口 松 男	〃
〃	岡 野 徳 一 郎	〃
		月ヶ瀬 作 蔵
		中 村 尚 孝
		吉 村 喜 孝
		藤 井 良 一
		高 橋 政 之
		上 羽 文 雄
		平 山 正 規
		成 田 益 規
		松 居 善 右 門
		川 北 恭 久
		田 中 孟

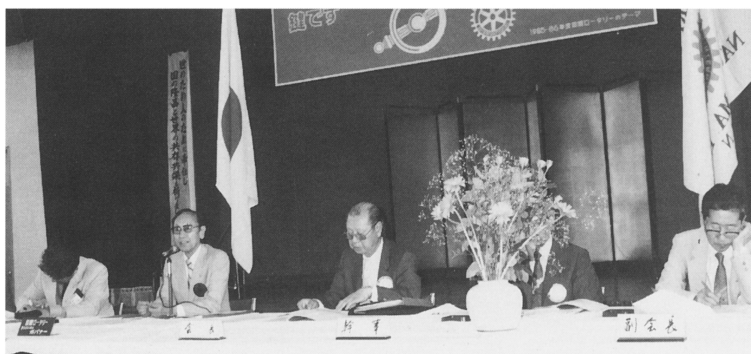
(敬称略)



松宮長浜市長に手渡された10周年記念事業目録

交換留学生 ドーン・ニコルさんを受け入れ

長浜東ロータリークラブでは、はじめて交換留学生を受け入れることになりました。これは前年に当クラブから長浜北高校生 吉田芳美さんを送り出した交換留学生事業ですが、我クラブには2年つづきでなごやかな雰囲気ただよっています。



- 7.12 ガバナー公式訪問
- 8.20 交換留学生ドーン・ニコルさん来日 長浜北高校2年編入
- 9.10 交通安全協会に帽子を寄贈
- 10.18 健康診断
- 11. 1 長浜東ロータリークラブ10周年記念式典
 - 記念植樹（亀甲竹・さつき・山茶花・檜）
 - 提唱石の設置
 - 巣箱の設置
 - 交通マナーの指導（長浜警察署）対照 幼稚園児
- 12.20 忘年家族会
- 4.11 地場産業見学会（ワボウ電子）